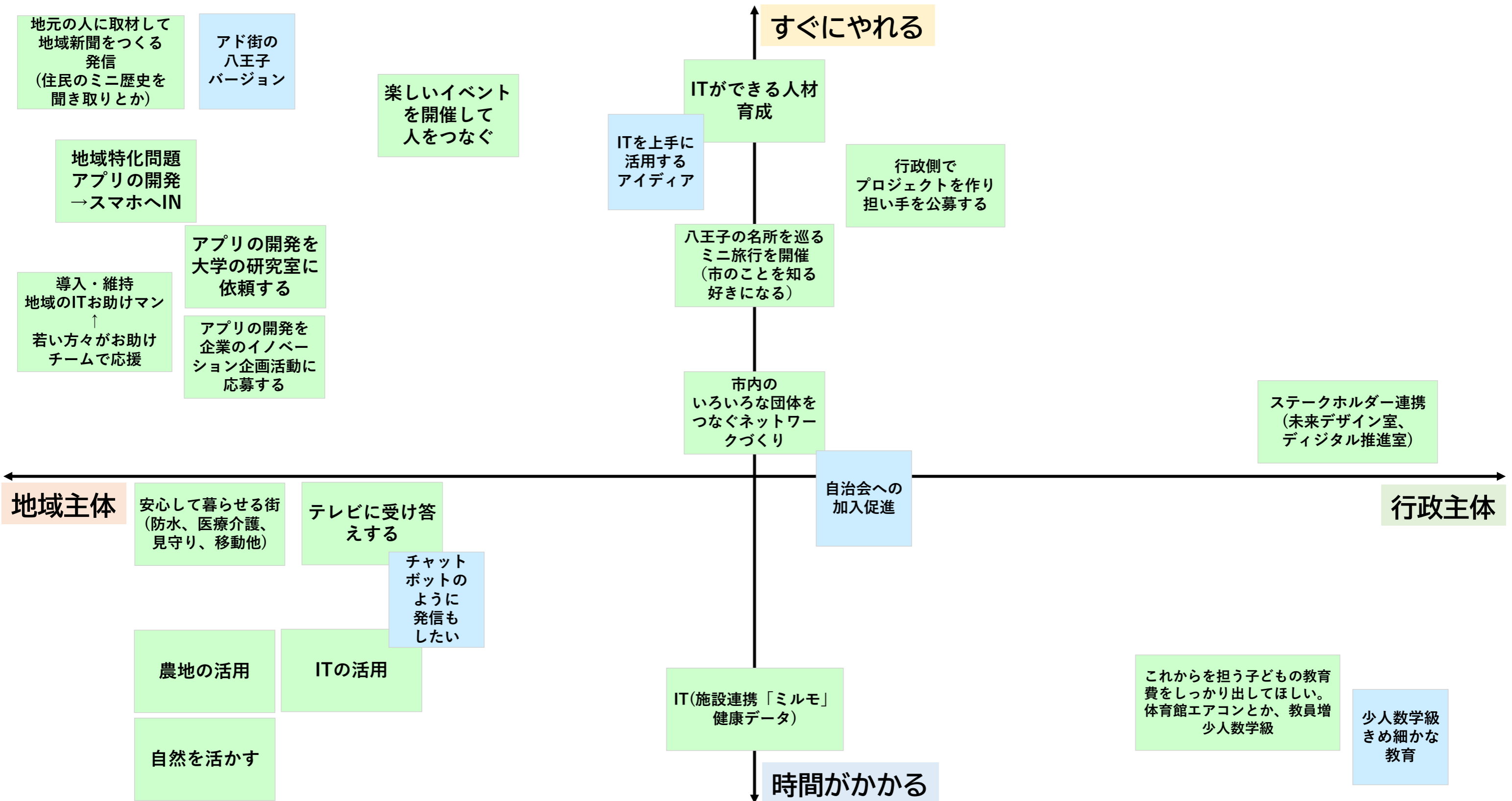


ありたい姿

人と人・人と情報をつなげる幸せな街

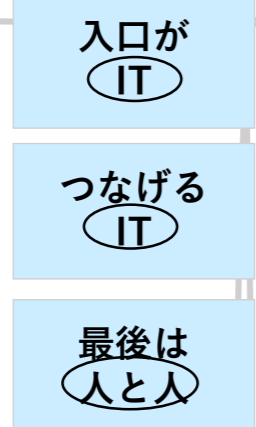
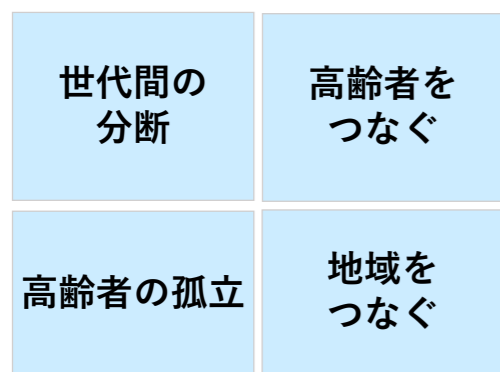
想い

人と人、人と情報がつながることで、子ども世代の教育からシニア世代の医療・見守りまで充実し、さまざま面で安心して暮らすことができる。みんなが幸せに生きれる地域であるために必要なもの同士を「つなげる」地域でありたい。



■中山中学校区 B-1 【地域のありたい姿と必要なこと】

人と



- (8) 社会活動推進
 - ・死にかけた人への助成は厳しく、元気シニアへの助成を手厚く、政策転換が必要
- (9) 地域連絡支援
 - 昔は地域の助け合いがあった。今はない→仕掛けづくり
 - ①サロンの食事(支援助成)
 - ②お楽しみ会(ポイント制度)
 - ③ウォーキングポイント制度
 - ④新たな移動支援の仕組み

- (6) 終の支援
 - ・相続相談
 - ・延命等事前指示書
 - ・認知症→即、施設紹介は×
 - ・私のお部屋システム

人と人が直接話す機会を沢山つくる

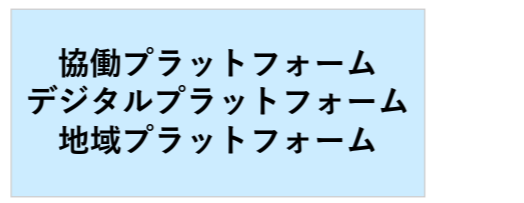


- (10) 遊休資源の活用
 - ・空き家使用、子育て世帯へ
 - ・空地の活用(畑等)
 - ・遊休地や施設活用(市民への働きかけ等)

- (5) 地域居場所の見直し
 - いつも同じ顔、お茶のみ会の改革が必要
 - ・健康づくり支援
 - ・食支援
 - ・役立つ情報提供の

新たな仕組み

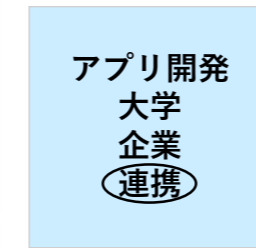
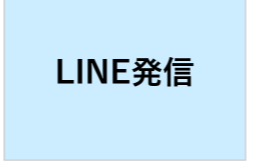
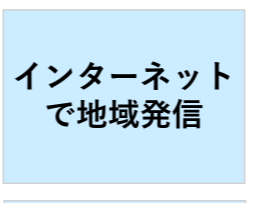
ITと



- (1) 市民協働プラットフォームの構築
 - ①働きたいシニア()人材マッチング 働いてほしい団体
 - ②みんなで見守り
 - ・認知症・介護家族・震災
 - ・一人暮らし高齢者等
 - ③元気シニア
 - ・データヘルス、婚活マッチング
 - ・まごころネット、電子私書箱
 - ・母子健康手帳 ・ワーニング

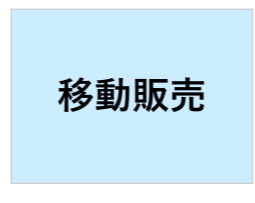
- (2) デジタルプラットフォームの構築
 - ・高齢者等ICT講座(使い方)
 - ・楽しいICT講座(楽しい集い)
 - ・タブレット会議、健康体操
 - ・レシピと食の集い
 - ・ICTサロン、様々な講座
 - ・ICT活用孤立防止、高齢者外来診療
 - ・ミルモ、デジタルアーカイブ
 - ・空き家ICT調査

- (3) 地域プラットフォームの構築
 - 助け合いネットの発展
 - 見守りネットの発展
 - 様々なICT支援
 - ・ICT等各種講座
 - ・食、健康等情報提供
 - 私のお部屋(終の支援)
 - ・在宅医療ネット、ミルモ
 - ・デジタルアーカイブ

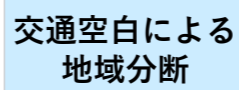
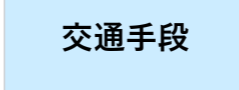
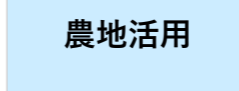
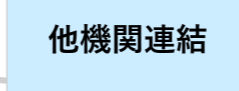
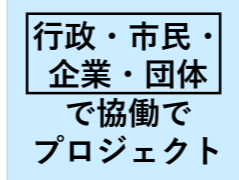


アプリ開発 理系大学の研究室で共通する取り組みがないか探す

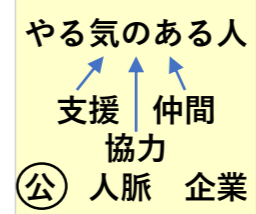
企業と



アプリ開発 企業のイノベーション企画活動に応募する



つなぎ手の発掘 市でプロジェクトを作り公募する



◎どう発信 ◎どう受信

情報をどう得るか

情報発信の方法

仕組みの維持に行政が関わっていただく
↓
アプリ等 作る→導入→維持

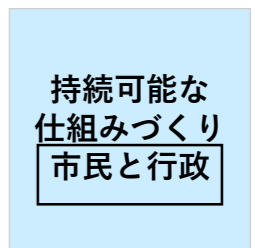
団体 既存のものをシンプルにする
↓
整理して、誰でもすぐキャッチできる様にする

行政と

仕組みを支える

(4) ステークホルダーとの連携強化
特に未来デザイン室、デジタル推進室、福祉部

(7) 遠隔医療
・遠隔問診
・薬処方の遠隔化



つなげた後の人と人との関係

つなげる仕組み 行政で管理する部署